

復興4年間の現状と課題（概要）

- ・復興4年間でインフラ復旧は概ね終了し、住宅再建は工事が進んでいる。併せて、産業・なりわいの再生と被災者の心身のケアに取り組む。
- ・福島復興・再生については、早期に帰還する人、長期に待つ人、新生活を選ぶ人、といった避難者の意向に応じた対策を進める。

1. 被災者支援

- 実績** 避難者は47万人から23万人まで減少。避難の長期化により、体と心の健康への支援が重要。
- 今後の方針** 仮設住宅での心身のケア、恒久住宅に移転後の生きがいづくり、コミュニティ形成への支援。



見守りによる心身のケア

2. 公共インフラの復旧

- 実績** がれき処理と公共インフラの復旧は、概ね終了。福島県のがれき処理も概ね処理完了。（避難指示区域除く）
- 今後の方針** 残る工事の促進。



災害公営住宅



高台移転による宅地造成

3. 住宅再建・復興まちづくり

- 実績** 住宅再建は、計画策定済みであり、工事も進行。また自主再建も進む。
 ※災害公営住宅：今月末までに概ね1万戸、5月頃までに1万戸を超える住宅が完成する見込み。
 高台移転：今月末までに概ね4千戸が完成する見込み。
- 今後の方針** 工事の促進。（災害公営住宅：平成27年度までに約2万戸、高台移転：平成27年度までに約1万戸完成見込み）

4. 産業・なりわいの再生

- 実績** 鉱工業生産指数は震災前の水準に回復、農地は7割で復旧、有効求人倍率は1倍を超え、雇用も改善。
- 今後の方針** 売上が回復しない業種への支援。新しい町での商店の再開支援。



米農家視察

5. 福島の復興・再生

- 実績** 除染（国直轄）は11市町村のうち、4市町村で除染が終了。
 中間貯蔵施設の建設及び土壌等の搬入受入表明。一部で避難指示が解除。
- 今後の方針** 早期に帰還する人、長期に待つ人、新生活を選ぶ人といった避難者の意向に応じた対策。
 また、放射線リスクコミュニケーションや風評被害対策。